





審査結果報告書

2021 年 1 月 21 日

主 査 氏 名	七里真義	
副 査 氏 名	辻 尚利	
副 査 氏 名	阪口 修一	
副 査 氏 名	堀口 真圓	

1. 申請者氏名 : 難波 孝徳

2. 論文テーマ : Prediction tool for high risk of surgical site infection in spinal surgery
(脊椎手術による手術部位感染リスクが高い患者を特定するための新しい層別化ツールの開発)

3. 論文審査結果 :

手術部位感染は脊椎手術に伴う死亡率や後遺症発症率に関与する重要な合併症である。申請者は16年にわたる北里大学病院における824人の手術症例記録をもとに、術後感染をアウトカムとしたリスク因子の評価を多重ロジスティック回帰分析法にて行ったところ、緊急手術、出血量、糖尿病、皮膚疾患、血清アルブミン値の5つの変数が有意な関連を認めたところから、各項目の β の係数による重み付けをおこなって clinical prediction rule を作成したところ、score の ROC 曲線の AUC が 0.733 であったことから、このスコアリングシステムの臨床的な有用性が示唆された。本研究は手術前に感染リスクが高い症例を見出し、糖尿病のコントロール、栄養状態の改善、手術手法の再検討などの術前介入の必要性を提唱している。

本研究の概要は Cambridge University Press の Infection Control & Hospital Epidemiology 誌に掲載された。公開審査では申請者による発表の後の副査および主査の広範な質問に対して、おおむね適切に回答し学識の高さを示した。副査および主査は学位論文の内容に加えて、質疑応答の適確さから、医学博士の学位に相応しいと判断した。